

令和5年度委託事業「シンクタンク機能育成事業」の概要

参考資料

- ◆ 本格的なシンクタンクの設立準備については、内閣府科学技術・イノベーション推進事務局において、基本設計に従って組織やマネジメント等の設計を行うこととなるが、それと並行して、**委託事業を活用し、設立されるシンクタンクの土台を構築**していくこととなっている
- ◆ **令和5年度委託事業「シンクタンク機能育成事業」においては、人材育成や先行的な調査研究等を実施**することとしているところ、具体的には「食料安全保障」と「サイバーセキュリティ」を個別調査分析のテーマとし、①国内需要動向調査、②国内外の技術動向調査、③国際政策動向・情勢分析、④統合需要分析・政策提言、⑤新法人設立準備・ネットワーク運営の5事業に分割して実施
- ◆ 企画競争の結果、中央大学（①と④）、慶應義塾（②と③）及びあずさ監査法人（⑤）が受託

凡例：  中央大学、  慶應義塾、  あずさ監査法人

※委託事業の中でOJTにより人材育成・能力開発を実施

①国内需要動向調査

- ・公表資料等のオープンソースに基づく顕在ニーズの整理
- ・潜在的公的ニーズの調査
- ・非公開情報も活用した潜在ニーズの掘り起こし・作りこみ

②国内外の技術動向調査

- ・技術動向調査による潜在的なものも含めた新興技術の発掘・分析
- ・顕在シーズの技術評価（成熟度、産業連関等）
- ・試行事業のフォローアップ

③国際政策動向・情勢分析

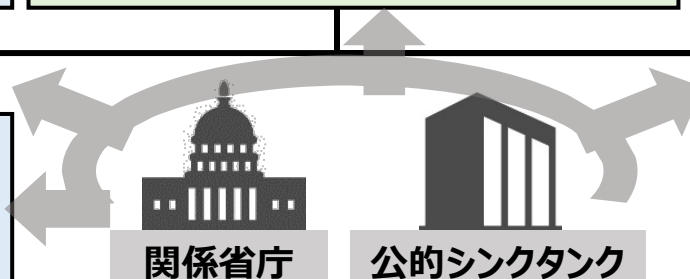
- ・グローバル・スタディによる今後の国際社会における我が国の立ち位置分析
- ・国際政治学、地政学、経済学等の社会科学の観点からの「強味/弱み」の評価
- ・自律性や不可欠性の観点からの分析

④統合需要分析・政策提言

- ・シーズとニーズのデータセットの構築及びマッチングによる重要技術領域の特定
- ・リスク評価・管理の視点を含めたシナリオ分析
- ・「勝ち筋」を見極めた上での政策提言

⑤新法人設立準備・ネットワーク運営

- ・国内外のシンクタンクの設立背景や設置形態、調査内容や顧客の変遷等に関する基盤調査
- ・設立準備に必要な事務作業（定款や規程類の案の作成等）
- ・関係機関との調査研究ネットワークの構築・運営

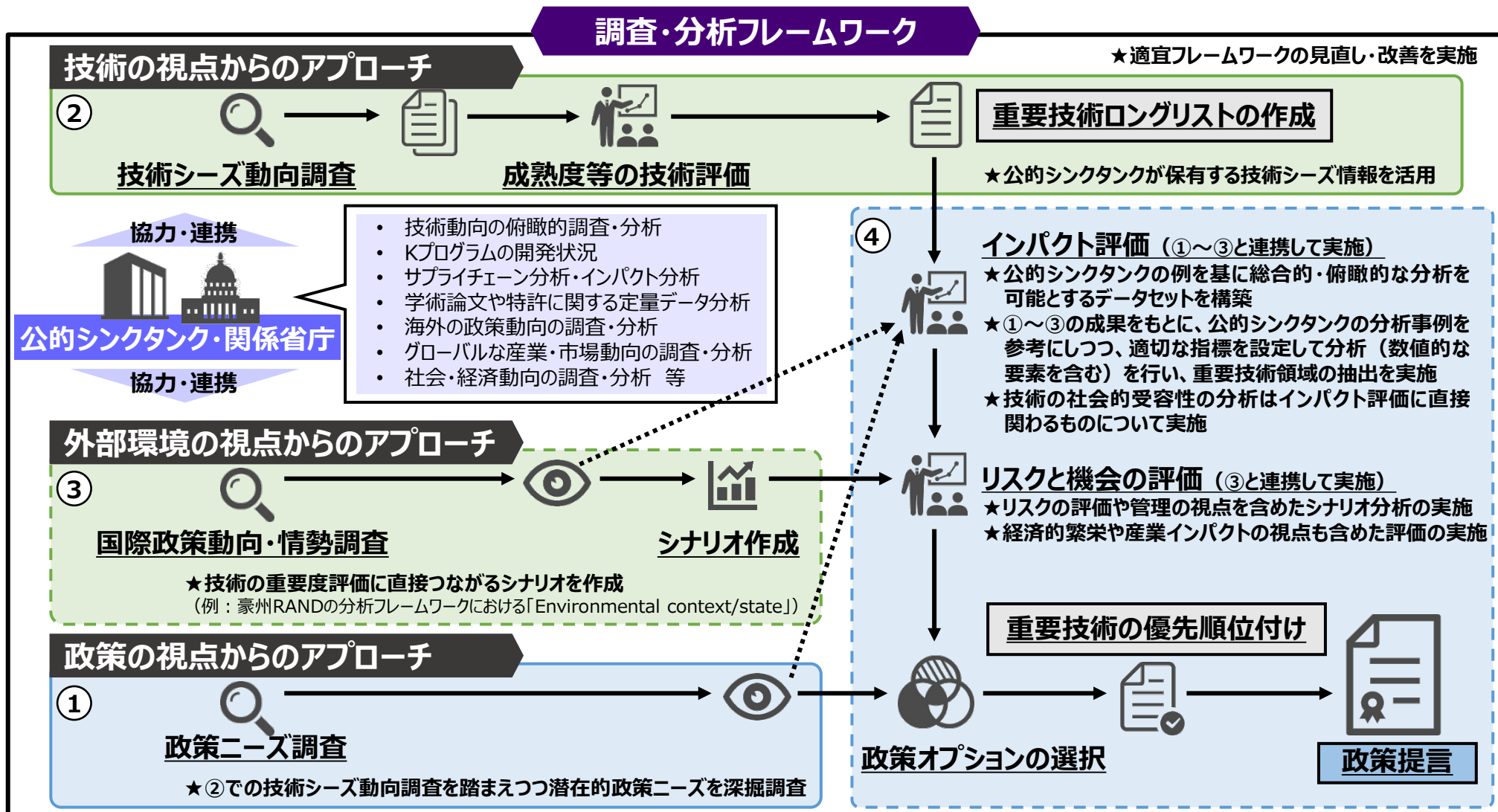


関係省庁や公的シンクタンクが有する知見・ノウハウを調査・分析に活用

- **JST・CRDS**：国の科学技術・イノベーション政策に関する調査・分析・提案を中立的な立場から行う。国内外の科学技術・イノベーションや関連する社会及び政策動向の俯瞰的な調査・分析等を実施。
- **NEDO・TSC**：産業技術やエネルギー・環境分野における技術戦略の策定等を行う。グローバルかつ多様な視点で、技術・産業・政策動向の把握・分析等を実施。
- **NISTEP**：科学技術・イノベーション政策研究の中核機関として、国内外の研究開発の動向や科学技術水準の定量的分析等を実施。
- **e-CSTI**：大学等の「研究」「教育」「資金獲得」に関するエビデンスを収集し、インプットとアウトプットの関係性を「見える化」するための分析機能等の開発・共有等を実施。

調査・分析フレームワークの概要

- ◆ 令和5年度においては、**サイバーセキュリティと食料安全保障**をテーマとして調査・分析を実施
- ◆ **技術、外部環境、政策の視点から調査・分析を実施し、重要技術のロングリストを作成した上で、技術評価やシナリオ分析を始め各種評価・分析を組み合わせてつ、重要技術の優先順位付けを実施**



凡例： 中央大学 (①)、 慶応義塾 (②)、 慶応義塾 (③)、 中央大学 (④)